

趣 意 書

平成 28 年 2 月 20 日

謹啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

量子科学は物理学や化学などの学問分野の根幹であり、それを応用した量子技術は我々の生活の中にも電子機器などの形で身近に利用されているところです。そして今、生命科学の分野に最先端の量子技術あるいは量子科学の知見を総合的に利活用することにより、従来は不可能であった、極微の空間・時間スケールにおける生命現象の予測・観察、超高感度での生体内部の温度・磁場等の計測や組織構造の画像化などを実現し、生命の本質に迫る新たな学問——量子生命科学——を誕生させようという機運が高まっています。

そこで、関連する研究分野の国内の有識者が一堂に会し、量子生命科学の名のもと、新たな研究分野を立ち上げることを目的として、平成 29 年 4 月 12 日(水)に、東京大学山上会館 2 階大会議室に於きまして、「第 1 回量子生命科学研究会」を開催することといたしました。本研究会では、量子ライフサイエンス、量子センサ、量子イメージング等、量子生命科学に関連する分野の研究の発表とパネルディスカッションを行います。約 100 名前後の参加者による研究会となる事が予定されており、本年 7 月 25 日～26 日に予定されている量子科学技術研究開発機構 (QST) 国際シンポジウム「Quantum Life Science」の前哨戦として、有意義な議論が行われることが期待されます。

本研究会の内容を充実すべく鋭意準備を進めているところでございます。つきましては、本研究会の趣旨に御賛同いただき、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

第 1 回量子生命科学研究会

会長 平野 俊夫 (量子科学技術研究開発機構 理事長)
副会長 島田 義也 (量子科学技術研究開発機構 理事)
田島 保英 (量子科学技術研究開発機構 理事)